

## 2-1

## 名詞的用法の不定詞 / 形容詞的用法の不定詞

暗記例文 I like to watch TV.

わたしはテレビを見ることが好きです。

## Step 5. 名詞的用法の不定詞



- (1) 《to + 動詞の原形》を不定詞と呼ぶ。名詞的用法の不定詞は、名詞と同じ働きをして「～すること」の意味を表す
- (2) 名詞的用法の不定詞はlikeなどの動詞の直後に置かれて動詞の目的語になる
- (3) 名詞的用法の不定詞は文の主語にもなる



空所をうめよう

- (1) practice tennis → to practice tennis

(テニスを練習する → テニスを )

buy TV → to buy TV

(テレビを買う → テレビを )

- (2) I like to write letters. (わたしは手紙を  が好きです。)

They like to run in the park. (彼らは公園で  が好きです。)

He likes to play the guitar. (彼はギターを  が好きです。)

- (3)   English is easy. (英語を話すのは簡単です。)

## Step 6. 形容詞的用法の不定詞



形容詞的用法の不定詞《to + 動詞の原形》は形容詞と同じ働きをして、「～するための、～するべき」の意味で名詞を修飾する

👉 形容詞 → p.47 品詞

これもcheck!

形容詞的用法の不定詞の訳し方

「～するための、～するべき」は単に「～する」と訳されることがある。



空所をうめよう

I have a bag to use.

(わたしには  かばんがあります。)

You have a lot of friends to meet.

(あなたには  友だちがたくさんいます。)

They have three books to read.

(彼らには  本が3冊あります。)



## 2-2

## 副詞的用法の不定詞 / 原因・理由

暗記例文 I went to the park **to walk** my dog.  
わたしはイヌを散歩させるために公園に行きました。

## Step 7. 副詞的用法の不定詞



副詞的用法の不定詞《to + 動詞の原形》は副詞と同じ働きをして、「～するために」の意味で動作の目的を表す

副詞 → p.47 **品詞**



空所をうめよう

We go there to speak English.

(わたしたちは英語を  そこへ行きます。)

John came to Tokyo to visit his aunt.

(ジョンは彼のおばを  東京に来ました。)

## Step 8. 原因・理由



(1) 副詞的用法の《to + 動詞の原形》は happy 「うれしい」、sad 「悲しい」 など感情を表す形容詞のあとに置かれて、「～して」という意味で感情の原因・理由を表す

(2) よく使われる《形容詞 + to + 動詞の原形》の表現

be happy [glad] to ~	～してうれしい、喜んでいる
be sad to ~	～して悲しい
be excited to ~	～してわくわくしている
be surprised to ~	～して驚いている
be sorry to ~	～して残念だ



空所をうめよう

(1) I'm happy to hear the news.

(わたしはその知らせを  うれしいです。)

She is sad to watch the movie. (彼女はその映画を  悲しいです。)

(2) Mark is happy   his sister.

(マークは彼の姉[妹]に会って喜んでいます。)

They are excited   a new computer.

(彼らは新しいコンピュータを買ってわくわくしています。)

We  surprised   a big dog.

(わたしたちは大きなイヌに会って驚きました。)

## 学習の内容

動作の目的や感情の原因・理由を表す副詞的用法の《to + 動詞の原形》の使い方を確認しよう。

## Q7 練習しよう

□ 次の英文の意味を完成させなさい。

- ① I get up at six to practice basketball.

わたしは(

) 6時に起きます。

- ② We go to the library to use the computer.

わたしたちはコンピュータを(

) 図書館に行きます。

- ③ My sister comes home early to do her homework.

わたしの妹は宿題を(

) 早く帰宅します。

- ④ Taro went to the library to borrow a book.

タロウは本を(

) その図書館に行きました。

## Q8 練習しよう

□(1) 次の英文の意味を完成させなさい。

- ① We are happy to eat delicious dinner.

わたしたちはおいしい夕食を(

) うれしいです。

- ② Jun is sad to read the book.

ジュンはその本を(

) 悲しいです。

- ③ My brother was very happy to play video games.

わたしの弟はテレビゲームを(

) とても喜びました。

□(2) 次の日本語に合う英文になるように、 \_\_\_\_\_ に適する語を書きなさい。

- ① クミは留学してうれしいです。

Kumi is \_\_\_\_\_ abroad.

- ② わたしは母からそのニュースを聞いて驚きました。

I was \_\_\_\_\_ the news from my mother.

☆□③ わたしはサッカーの試合を見るためにここに来ました。試合を見てわくわくしています。

I came here \_\_\_\_\_ the soccer game. I'm \_\_\_\_\_ the game.

 HINT (2)③ 1文目と2文目の不定詞は違う意味を表すことに注意しよう。

チャレンジ問題!! 今まで習ったものも含めて理解できているかな？

▶ 次の( )内の語を必要ならば適する形に直しなさい。1語とは限りません。

I have an uncle in Hokkaido. He came ①( visit ) us last year. He said to me, "I'm surprised ②( see ) you. You are so big now." We met in Hokkaido many years ago, but I don't remember anything. I said, "I hope ③( go ) to Hokkaido again." He said, "I have something ④( tell ) you. I'll invite you to my farm in Hokkaido. Will you help me on my farm during the vacation? You have many things ⑤( learn ) on the farm." I was very happy ⑥( hear ) his words.

- ① \_\_\_\_\_ □② \_\_\_\_\_ □③ \_\_\_\_\_  
□④ \_\_\_\_\_ □⑤ \_\_\_\_\_ □⑥ \_\_\_\_\_

## つなげよう！

## 2年生の文法のまとめ

## 中2①過去進行形

暗記例文 She **was running** then.

(彼女はそのとき、走っていました。)

「～していました」と過去の進行中の動作についていうときは、《was [were] + 動詞のing形》で表す。疑問文はwas [were]を主語の前に出す。否定文はwas [were]の後ろにnotを置く。

疑問文 Was she **running** then?

(彼女はそのとき、走っていましたか。)

— Yes, she **was**. / No, she **wasn't**. (はい、していました。/ いいえ、していませんでした。)否定文 She **was not [wasn't]** running then.

(彼女はそのとき、走っていませんでした。)

確認問題 次の英文を( )内の指示にしたがって書きかえなさい。

解答⇒p.46

□(1) We played tennis. (過去進行形の文に)

□(2) They were singing. (疑問文に)

□(3) Emi was dancing. (否定文に)

## 中2②未来A be going to

暗記例文 Emi **is going to** play tennis tomorrow. (絵美は明日、テニスをするつもりです。)

「～するつもりだ、～しそうだ」と未来のことをいうときは、《is [am / are] going to + 動詞の原形～》の形で表す。

現在 Emi **plays** tennis every day.

(絵美は毎日、テニスをします。)

未来 Emi **is going to play** tennis tomorrow.

(絵美は明日、テニスをするつもりです。)

☆ 疑問文にするには、is [am / are]を主語の前に出す。否定文はis [am / are]の後ろにnotを置く。

確認問題 次の英文を( )内の指示にしたがって書きかえなさい。

解答⇒p.46

□(1) He watches TV. (未来を表す文に)

□(2) They are going to visit Emi. (疑問文に)

□(3) Tom is going to buy the book. (否定文に)

## 中2②未来B will

暗記例文 It **will** rain tomorrow.

(明日、雨が降るでしょう。)

「～するだろう、～するつもりだ」と未来のことをいうときは、《will + 動詞の原形～》の形で表す。

現在 It **rains** every day.

(毎日、雨が降ります。)

未来 It **will rain** tomorrow.

(明日、雨が降るでしょう。)

☆ 疑問文にするにはwillを主語の前に出す。否定文はwillの後ろにnotを置く。will notの短縮形はwon't [ウォウント]。

確認問題 次の英文を( )内の指示にしたがって書きかえなさい。

解答⇒p.46

□(1) Tom visits Kyoto. (未来を表す文に)

□(2) You will be a teacher. (疑問文に)

□(3) Ann will learn Japanese. (否定文に)

## 中2③助動詞 A must

暗記例文 I **must** go home.

(わたしは家に帰らなければなりません。)

「～しなければならない」というときは、《must + 動詞の原形～》の形で表す。

**mustなし** I go home at eight every day. (わたしは毎日、8時に家に帰ります。)**mustあり** I **must** go home at eight every day. (わたしは毎日、8時に家に帰らなければなりません。)☆ 疑問文にするには**must**を主語の前に出す。否定文は《**must not** [mustn't] + 動詞の原形～》の形で「～してはいけない」という意味を表す。must notの短縮形は**mustn't** [マストント]。

確認問題 次の英文について( )内の指示にしたがって答えなさい。

解答⇒p.46

- (1) Emi studies hard. (「～しなければならない」という意味の文に) \_\_\_\_\_
- (2) Must you get up early? (日本語に) ( ) \_\_\_\_\_
- (3) You mustn't watch TV. (日本語に) ( ) \_\_\_\_\_

## 中2③助動詞 B have[has] to

暗記例文 I **have to** clean my room. (わたしは自分の部屋をそうじしなければなりません。)

「～しなければならない」というときは、《have [has] to + 動詞の原形～》の形で表す。

**have toなし** I clean my room. (わたしは自分の部屋をそうじします。)**have toあり** I **have to** clean my room. (わたしは自分の部屋をそうじしなければなりません。)☆ 《Do [Does] + 主語 + have to + 動詞の原形～?》の形で「～しなければなりませんか」という意味を表す。  
《don't [doesn't] have to + 動詞の原形～》の形で「～しなくてよい[～する必要はない]」という意味を表す。

確認問題 次の英文について( )内の指示にしたがって答えなさい。

解答⇒p.46

- (1) Emi studies hard. (「～しなければならない」という意味の文に) \_\_\_\_\_
- (2) Do you have to go home now? (日本語に) ( ) \_\_\_\_\_
- (3) You don't have to come here. (日本語に) ( ) \_\_\_\_\_

## 中2③助動詞 C may

暗記例文 You **may** go home now.

(あなたは今、家に帰ってもよいです。)

「～してもよい」、「～するかもしれない」というときは、《may + 動詞の原形～》の形で表す。

**～してもよい** You **may** go home now. (あなたは今、家に帰ってもよいです。)**～するかもしれない** It **may** rain tonight. (今夜、雨が降るかもしれません。)

確認問題 次の英文を日本語に直しなさい。

解答⇒p.46

- (1) You may sit down here. ( ) \_\_\_\_\_
- (2) He may be sick. ( ) \_\_\_\_\_

## 中2③助動詞 D should

暗記例文 We **should** go home now.

(わたしたちは今、家に帰るべきです。)

「～するべきだ」というときは、《should + 動詞の原形～》の形で表す。

疑問文 Should we go home now?

(わたしたちは今、家に帰るべきですか。)

否定文 We **should not** [shouldn't] go home now.

(わたしたちは今、家に帰るべきではありません。)

☆ **should not** の短縮形は **shouldn't** [シュドウント]。

確認問題 次の英文を( )内の指示にしたがって書きかえなさい。

解答⇒p.46

- (1) You help your mother. (「～するべきだ」という意味の文に) \_\_\_\_\_
- (2) I should talk with Emi. (Iが主語の疑問文に) \_\_\_\_\_
- (3) We should go there. (否定文に) \_\_\_\_\_

## 中2③助動詞 E 助動詞を用いた表現

暗記例文 Can I open the door?

(ドアを開けてもいいですか。)

～してもいいですか 《Can [May] I + 動詞の原形～?》

Can [May] I open the door?

(ドアを開けてもいいですか。)

～してくれますか 《Can [Will] you + 動詞の原形～?》

Can [Will] you open the door?

(ドアを開けてくれますか。)

☆ 「～していただけますか」といねいをお願いするときは、《Would [Could] you + 動詞の原形～?》を用いる。

～するのはいかがですか 《Would you like to + 動詞の原形～?》

Would you like to have dinner with me?

(わたしと夕食を食べるのはいかがですか。)

(わたしが)～しましょうか 《Shall I + 動詞の原形～?》

Shall I open the door?

((わたしが) ドアを開けましょうか。)

(いっしょに)～しましょうか 《Shall we + 動詞の原形～?》

Shall we go home?

((いっしょに) 家に帰りましょうか。)

確認問題 ( )内の日本語に合うように、\_\_\_\_\_に適当な語を書きなさい。

解答⇒p.46

- (1) \_\_\_\_\_ help you? (わたしがお手伝いしましょうか。)
- (2) \_\_\_\_\_ sit down here? (ここにすわってもいいですか。)
- (3) \_\_\_\_\_ sing a song? (いっしょに歌を歌いましょうか。)
- (4) \_\_\_\_\_ have lunch? (昼食を食べるのはいかがですか。)
- (5) \_\_\_\_\_ close the door? (ドアを閉めてくれますか。)



## 中2 ④ There is[are]

暗記例文 **There is** a cat under the bed. (ベッドの下に1匹のネコがいます。)

《There is [are] ～＋場所を表す語句.》で「…に～がある[いる]」という意味を表す。「～」にくる名詞が単数の場合はis, 複数の場合はareを用いる。

**肯定文** **There is** a cat under the bed. (ベッドの下に1匹のネコがいます。)

**There are** three cats under the bed. (ベッドの下に3匹のネコがいます。)

**疑問文** **Are there** any cats under the bed? (ベッドの下に何匹かネコがいますか。)

— Yes, **there are**. / No, **there aren't**. (はい, います。/ いいえ, いません。)

**否定文** **There are not** any cats under the bed. (ベッドの下に1匹もネコがいません。)

**確認問題** ( ) 内の日本語に合うように, \_\_\_\_\_ に適当な語を書きなさい。

**解答**→p.46

- (1) \_\_\_\_\_ a chair by the window. (窓のそばに1つのいすがあります。)
- (2) \_\_\_\_\_ any oranges in the box. (箱の中にオレンジは1つもありません。)
- (3) \_\_\_\_\_ any children in the park? (公園に何人か子どもたちはいますか。)
- \_\_\_\_\_ . (いいえ, いません。)
- (4) \_\_\_\_\_ many cats near the station. (駅の近くにたくさんのネコがいました。)
- (5) \_\_\_\_\_ a school in this town? (この町に学校はありましたか。)
- \_\_\_\_\_ . (はい, ありました。)
- (6) \_\_\_\_\_ any students in the classroom yesterday.  
(昨日, 教室に生徒は1人もいませんでした。)

## 中2 ⑤ 補語をとる動詞

暗記例文 **She became** famous. (彼女は有名になりました。)

《主語＋動詞＋補語》 ☆ 《主語＝補語》の関係。

「～になる」, 「～に見える」というときは《主語＋動詞＋補語》の形で表す。

**～になる** 《become＋名詞[形容詞]》 **She became famous**. (彼女は有名になりました。)

**～に見える** 《look＋形容詞》 **She looked happy**. (彼女は幸せそうに見えました。)

**確認問題** 次の日本語に合う英文になるように( ) 内の語を並べかえなさい。

**解答**→p.46

- (1) トムは疲れているように見えました。 (looked / Tom / tired). \_\_\_\_\_
- (2) わたしのおじは医者になりました。 (became / my / a / doctor / uncle). \_\_\_\_\_
- (3) そのカレーはおいしそうに見えます。 (delicious / curry / looks / the). \_\_\_\_\_
- (4) 彼はよいサッカー選手になるでしょう。 (will / he / a / player / good / become / soccer). \_\_\_\_\_



## 中2 ⑥ 接続詞

暗記例文 I know **that** he is kind. (わたしは彼が親切だということを知っています。)

andは「〜と…」、orは「〜かまたは…」、butは「しかし」、soは「それで」という意味を表す。

**that**「〜ということ」は、**know**(知っている)、**think**(思う)などの動詞のあとに使われ、**that**以下全体で動詞の目的語(「〜を」の部分)になる。この**that**は省略されることがある。

**when**は、「…するとき、〜」という意味で、文と文を結びつける働きがある。同じ働きの接続詞に**because**「…するので、〜」、**if**「もし…するならば、〜」などがある。

確認問題 次の英文を日本語に直しなさい。

解答⇒p.46

- (1) I think that math is difficult. ( )
- (2) If it is fine tomorrow, I will go out. ( )
- (3) I came home early because I was sick. ( )

## 中2 ⑦ 不定詞

暗記例文 Ken likes **to play** tennis. (健はテニスをするのが好きです。)

《to + 動詞の原形》の形で、名詞、副詞、形容詞の働きをするものを**不定詞**という。

名詞的用法「〜すること」 Ken likes **to play** tennis. (健はテニスをするのが好きです。)

副詞的用法「〜するために」 Mika went to America **to study** music.  
(美香は音楽を勉強するためにアメリカへ行きました。)

形容詞的用法「〜するための」 I want something **to eat**. (わたしは何か食べる(ための)ものがほしい。)

確認問題 次の英文を日本語に直しなさい。

解答⇒p.46

- (1) I came here to meet you. ( )
- (2) I have much time to talk with him. ( )
- (3) I want to be an English teacher. ( )

## 中2 ⑧ 動名詞

暗記例文 **Swimming** in the river is a lot of fun. (川で泳ぐことはとても楽しい。)

《動詞のing形》が「〜すること」という意味で、文の中で名詞の働きをするものを**動名詞**という。形は進行形で使う動詞のing形と同じ。

目的語 Emi likes **watching** TV. (絵美はテレビを見るのが好きです。)

主語 **Swimming** in the river is a lot of fun. (川で泳ぐことはとても楽しい。)

補語 My hobby is **collecting** cards. (わたしの趣味はカードを集めることです。)

確認問題 ( )内の日本語に合うように、\_\_\_\_\_に適当な語を書きなさい。

解答⇒p.46

- (1) I began \_\_\_\_\_ Chinese last year. (わたしは昨年、中国語を習いはじめました。)
- (2) \_\_\_\_\_ French is difficult. (フランス語を話すのは難しい。)
- (3) My job is \_\_\_\_\_ Japanese. (わたしの仕事は日本語を教えることです。)